

# インテック・ネットコア ～イノベーション創出のために～

---

2006.11.22  
インテック・ネットコア  
荒野 高志



インテック・ネットコアは

この歴史的な変革期の中において

IPネットワーク技術をベースにしたイノベーションを

他者／他社と連携して創出することを目標とした会社です

---

## 設立経緯

会社名:株式会社インテック・ネットコア

設立日:平成14年5月29日

資本金:5,000万円

---

## 会社の理念

コア技術の研究開発とコア人材の育成を通して  
次世代インターネットに貢献する

---

## 会社のビジョン

最先端IPネットワーク技術を核としたイノベーションを創出する

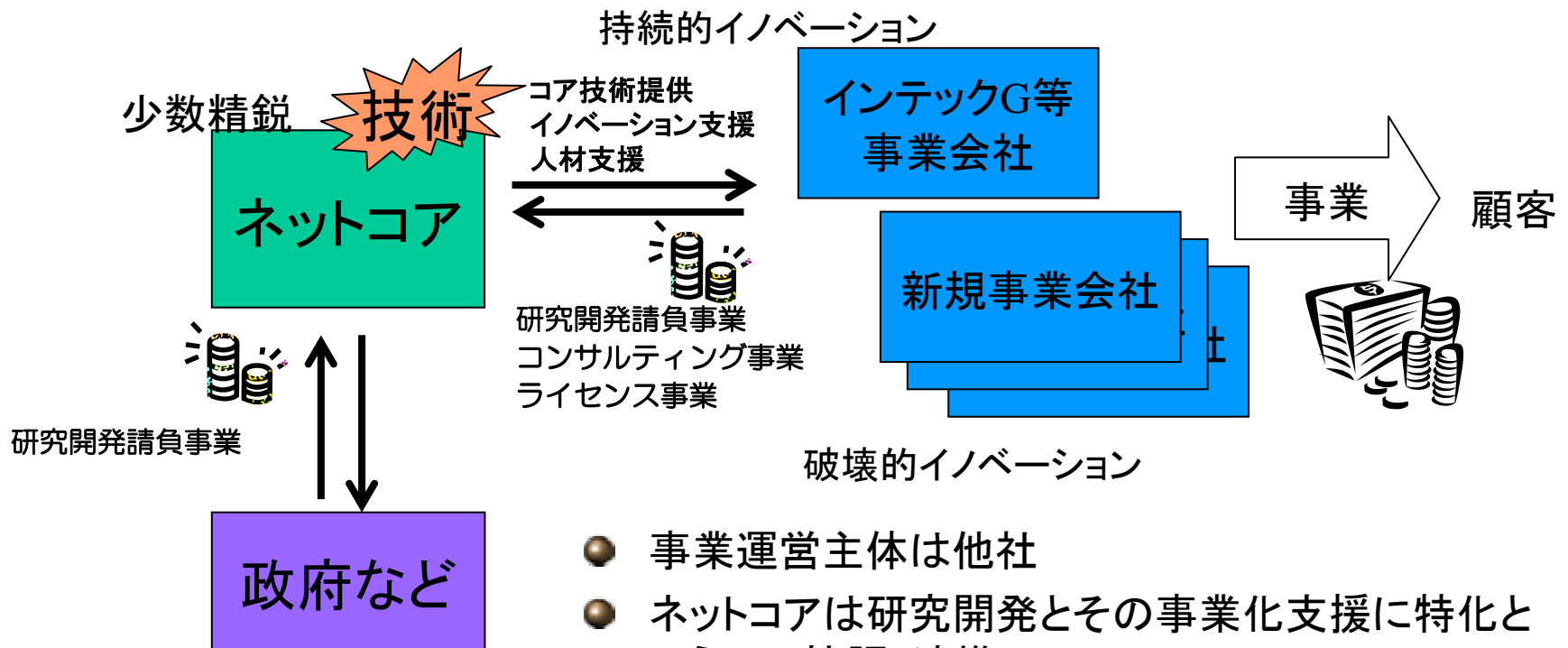
- ・顧客価値／社会価値の最大化
  - ・技術の本質の追求
  - ・人が育つ環境
  - ・グローバルな視点
  - ・変革の時代にふさわしい企業運営のあり方の模索と実践
- 

## 事業内容

- ・次世代コア技術の調査・研究・開発 (IPv6, MPLS等)
  - ・コンサルタント業務
  - ・インターネットに関わる業界活動
  - ・コア人材のインキュベーション
-

# ビジネス基本モデル

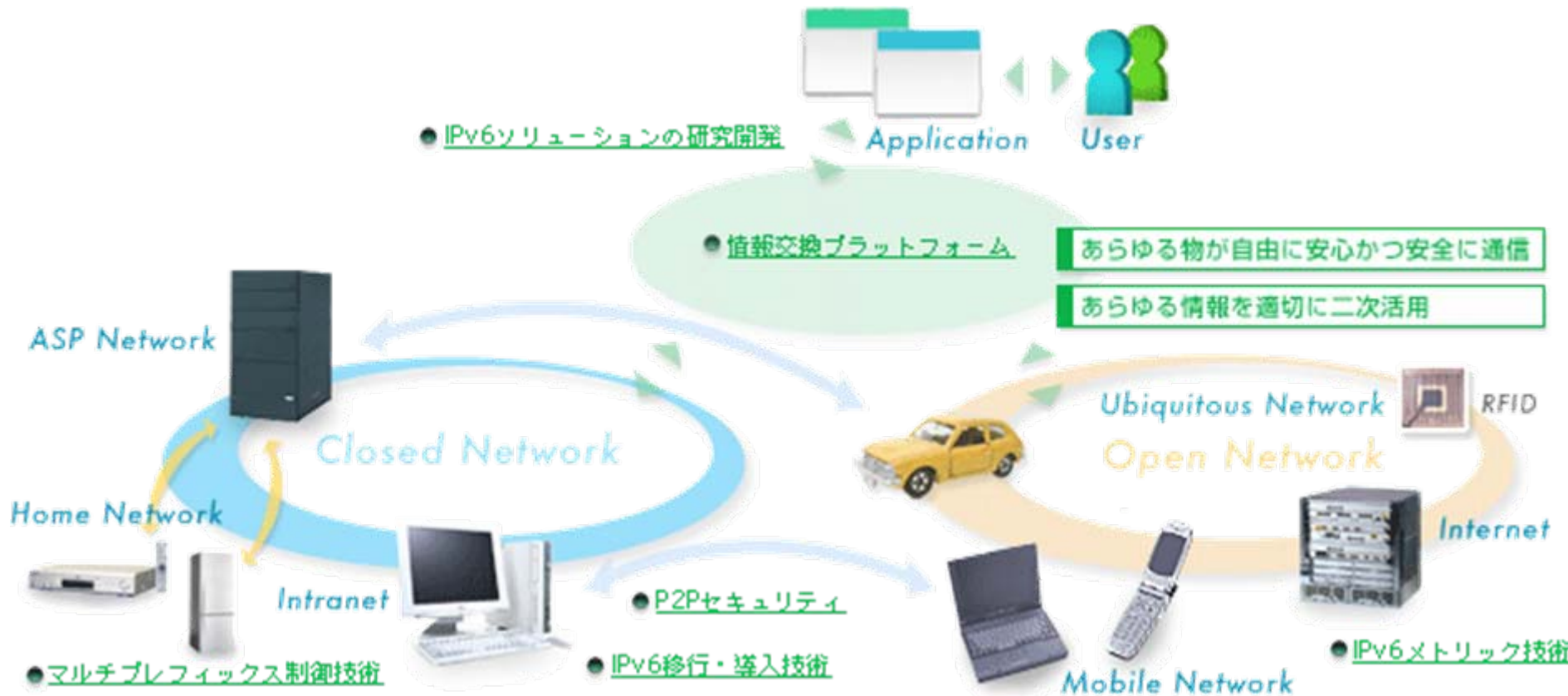
新しい技術を研究開発し、事業会社に技術をライセンスすることにより、さらに次の研究を進めていく



- 事業運営主体は他社
- ネットコアは研究開発とその事業化支援に特化という形で協調・連携
- 資金面でのリスクを最小にして、さまざまなタイプのイノベーションへのチャレンジを積み重ねられる

# IPv6 = 情報流通プラットフォーム

- さまざまな「もの」をシームレスにつなげることにより、「もの」からの情報を活用できる「IPv6情報流通プラットフォーム」は、さまざまな産業分野でのイノベーションを誘発するイノベーションイネーブラーとなる。



# IPv6ビジネス戦略

- 長期的な視野に基づいたモデル
- ビジネス戦略を3フェーズに分類
  - ・啓蒙期:ビジネスシーズの発見、環境整備
  - ・ビジネス勃興期:新市場の創出を目指す
  - ・ビジネス発展期:顧客・パートナー企業とともにビジネス成功

高度な技術力によるイノベーションの創出

新たなビジネスの切り口

啓蒙期 ~2006

- 今までは普及啓蒙に尽力し、ブランド形成
  - アドレスポリシー標準化 (JPNIC/APNIC)
  - IPv6サミット企画・運営 (インターネット協会)
  - IPv6移行ガイドライン (IPv6協議会)
  - IPv6ソリューションガイドライン (総務省)
  - 国際、特にアジアでの情報共有・連携 (APv6TF, IPv6 Forumなど)
    - SFC村井教授やWIDEと連携

- これからは今まで蓄えてきた技術や知見を生かしてビジネス化へ

- 基盤技術

- マルチプレフィックス制御技術(MPR)

- SFC國領研究室のインフラコストシェアモデルとの連携

- 多段セキュリティモデル技術(MLS)

- IPv6普及度計測メトリック

- SI技術

- 移行導入方法論、IPv6モチベーションモデル

- ソリューション

ビジネス勃興期 2007~

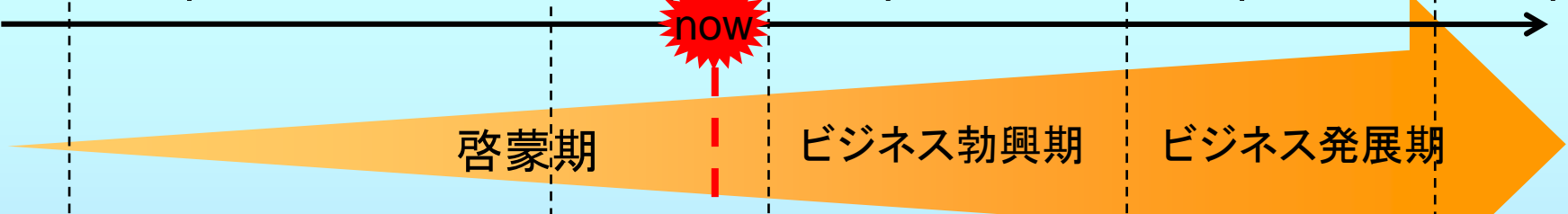
2002年

2006年

2007年  
now

2011年

2015年



ネットワーク関連技術の研究開発

ソリューション／  
コンサルティング

創造したイノベーション  
／価値の底分

### ネットコアブランドの構築

- IPv6アドレスポリシーの世界標準化
- IPv6移行ガイドラインの開発
- IPv6ソリューションガイドの開発

極上のエサ

アーリーアダプタへの変革

ビジネス勃興期への準備段階



IPv6の稚魚

IPv6移行導入

マルチプレフィックス制御技術

マルチレイヤセキュリティ技術

イノベーションの創出



新市場の創出

他社・他者との連携・協調  
(例) SFCのコストシェアモデル

